

平成30年度 「生徒自身による『私たちのネット利用ルール』づくり」 活動推進実践報告書

1 学校の概要

- (1) 学校名 埼玉県立上尾南高等学校
- (2) 学級数 24 学級
- (3) 生徒数 811 名
- (4) 教職員数 71 名

2 「私たちのネット利用ルール」づくりについて

- (1) 取組内容（決定までのプロセス）

① 生徒会本部役員による会議

まず、生徒会本部役員によりネットの利用ルールについて話し合った。

生徒会本部役員自身が SNS を利用しているなかでの困りごとが挙げられた。守ることができるルールを設定するには、全校生徒が納得できる内容でなければならない、という意見でまとまった。全校生徒の SNS をはじめとしたネットの使用状況を把握する必要があった。



② 実態を把握するためアンケートをホームルームで実施

7月上旬に、ネット利用の実態を捉えるためのアンケートを行った。アンケートは、ホームルーム単位で実施し、集計はクラスの代表として HR 委員が中心になって行った。



③ アンケート結果

アンケートの集計結果では、「SNS などネットを利用する上で、どのようなトラブルに巻き込まれたことがあるか」という質問に対して、「許可のない写真掲載（無断投稿、加工など）」を選んだ生徒が最も多かった。また、「これまでに、どのような危険を感じたことがあるか」という質問に対しては、「意図しないサイトに誘導された」が最も多い結果となった。

④ アンバサダー会議を行う

全校生徒アンケートの結果を踏まえて、8月20日（月）埼玉県県民健康センターにて行われた「生徒自身による『私たちのネット利用ルール』づくり」の合同ワークショップに参加した。本校の生徒会役員生徒4人が参加し、アンバサダーに任命された。スマートフォン等によるインターネット利用に関して他校代表生徒と情報交換を行い、ルールについて話し合いを行った。

ネットトラブルの解決に向けて主体的にルールづくりを行った。



(2) 全校への周知の方法

○ アンバサダー（生徒会役員）からの周知

全校生徒への周知は、各ホームルームに掲示物を作成して行った。加えて、生徒会だよりでも取り上げて周知を行った。

(3) 私たちのネット利用ルール

「目的をはっきりさせ、本人の許可をもらってある写真や動画を LINE グループに投稿する」

「ネットいじめを少なくするために、悪口に共感せず、悪口を言っている人を注意する」

3 活動推進校独自の取組（広報活動）について

(1) 活動内容

朝、上尾南高校の校門周辺にて生徒会役員が行っているあいさつ活動と共に、登校する生徒に対して「私たちのネット利用ルール」を掲げて呼びかけた。

(2) 実施期間

平成30年10月以降の毎月10日（休業日の場合は平日に振り替え）

(3) その他

全校集会での生徒指導主任講話にて背景や意義、ルールについて生徒に対し周知を行った。さらに、生徒会だよりで周知を行った。

4 活動の成果と課題

(1) ネットに関するトラブルの減少

生徒間でのネットに関するトラブルの件数が、昨年比べて減少した。今年度は、ネットトラブル防止講演会や教職員からのネットの使い方に関する日々の指導に加えて、アンバサダーからのネットルールの呼びかけによって、昨年以上にネットに関するルールやマナーが浸透し、定着を図ることができた。

(2) 生徒の自治意識の向上

教職員からの指導だけでなく、生徒が自ら、自分達の生活を向上させるためにルールの呼びかけなどを行い、自律的な高校生活を送るきっかけとなった。

(3) 課題

ネット利用ルールの広報活動の方法について、4名のアンバサダーからの呼びかけだけでなく、さらに多くの生徒から呼びかける方法を取り、効果的に意識を向上させる方法を用いたい。